

『八歳兒』ハングル表記満洲語文語索引*

王 海波
(嶺南師範学院)

キーワード: 『八歳兒』、ハングル表記、満洲語文語

1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入閑後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯總解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる（小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290）。

清学書におけるハングル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一対一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV (C=子音、V=単母音または二重母音) に相当する語形が、ハングル表記では 1 音節で書かれる場合もあれば、2 音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハングル表記や io に対応するハングル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハングル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハングル表記の対応関係に関する研究としては、池上 (1951; 1954; 1963)、今西 (1958)、성백인 (1984)、岸田 (1989)、Ikegami (1990)、崔宰宇 (1997)、菅野 (2005)、邵磊 (2011; 2016)、和田 (2013)、王敵非 (2013)、邵磊・多麗梅 (2022; 2023)、邵磊・金龍軍 (2022)、邵磊・林茶英 (2022)、邵磊・王敵非 (2022)、邵磊・任國俊 (2023) などが挙げられる。

満洲文字とハングルの表記対応の問題を検討するには、ハングルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『八歳兒』にあるハングル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

2. ハングル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『八歳兒』におけるハングル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。

- [1] 第 1 列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写（メレンドルフ式転写）と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田 (1937)、田村ほか (1966-1968)、福田 (2008) 等を参考にした。なお、和訳は『八歳兒』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。
- [2] 第 1 列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『八歳兒』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第 1 列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。
- [3] 第 2 列には、『八歳兒』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。

* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」（課題番号 22FMZB009）の助成を受けた研究成果の一部である。

[4] 第 3 列は、当該語形が『八歳兒』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(1a-2-3)」は「第 1 葉 a 面-第 2 行-第 3 語」を表す。「第 X 語」とは、ハングル表記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合の X 番目に現れる語を指す（ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する）。

表 1 :『八歳兒』ハングル表記満洲語文語索引

メレンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
abka 「空」	압카	(1b-1-3) (1b-4-4) (4b-4-1) (5a-1-1) (5b-2-4) (5b-4-1) (6a-1-2) (6a-3-2) (6a-5-3) (6b-3-1) (7a-1-3) (7a-4-1) (7a-5-3) (7b-4-2) (11a-3-1) (12a-3-2)
adarame 「如何に」	아다라며	(5a-2-5) (7b-2-1) (8b-2-1) (9a-1-3) (9a-5-5) (9b-4-5)
aga 「雨」	아가	(11b-3-3)
ai 「何 ; 何の」	애	(4a-3-1) (6a-4-1) (7a-2-2) (7b-5-4) (8a-3-1)
ainambi 「何をする、どうする」	---	---
ainaha	애나하	(3a-5-4)
ajige 「小さい」	아지거	(3a-5-1) (3b-2-3) (4a-2-1) (4a-5-3)
ajigen 「小さい、幼い」	아지건	(4a-2-5)
akū 「無い」	아쿠	(2b-2-4) (6a-3-4) (7a-1-5) (7b-5-2) (10a-1-1) (10b-5-4)
ama 「父」	아마	(2b-1-1)
amala 「後ろ(に) ; 後に ; これから」	아마라	(3a-3-2) (3a-4-4)
amargi 「北 ; 後ろ」	아말기	(9b-1-4) (9b-2-1) (9b-2-4)
amba 「大きい」	암바	(10a-2-5) (11a-2-2) (11a-4-1)
angga 「口」	양가	(6a-5-5) (7a-1-4) (7a-2-3)
arambi 「作る ; 書く ; ～のふりをする」	---	---
arafi	아라피	(1b-1-1) (2b-2-2) (11a-2-4)
bade 「所に/で ; ～のに」	바더	(1b-3-3)
baibi 「徒らに」 (baibi niyalma waka 「ただものではない」)	배비	(4b-3-2)
bayan 「富んだ」	바얀	(1b-2-5)
be 「を」	비	(2a-1-3) (2a-2-1) (4a-3-3) (4b-1-5) (6b-4-2) (7b-4-3) (8b-5-5) (9a-5-1) (9b-4-1) (11a-2-1) (11b-1-4) (11b-2-2) (12b-1-1) (sebe の行も 参照)
beri 「弓」	버리	(12a-1-4)
bethe 「足」	변히	(7a-4-3) (7a-5-5) (7b-1-4) (7b-5-1) (7b-5-5)
bi 「ある ; いる」	비	(5a-1-4) (5a-2-3) (5b-1-2) (7a-5-6) (7b-1-5) (8a-5-4) (8b-1-5) (8b-5-3) (9a-4-4) (9b-3-4)

bici	비치	(10a-5-3)
bio	보	(4b-4-4) (5b-3-2) (6b-1-1) (7a-4-4) (8a-3-4)
bijambi 「折れる」	---	---
bijarakū	비자라쿠	(11b-5-3)
bithe 「本 ; 字 ; 学識」	빈허	(1a-5-4) (1b-3-4) (1b-5-3) (3b-5-1) (11a-5-3)
bodombi「考える ; 計算する」	---	---
bodorakū	보도라쿠	(1b-3-1)
bucembi 「死ぬ」	---	---
bucehebi	부쳐허비	(6b-5-5)
bulehen 「鶴」	부러현	(5b-4-4)
bumbi 「与える」	붐비	(2a-2-2)
cendembi 「試す」	---	---
cendeki	천더키	(10b-1-6)
cendeme	천더머	(1b-5-4) (3b-5-2)
cendere	천더려	(10b-4-5)
cihai 「任意に」	치해 ¹	(1a-4-4)
cing (cing mu 「(地名)」)	칭	(2a-3-1)
dabsun 「塩」	답순	(8b-4-6) (8b-5-6) (9a-1-4)
dahambi 「付き従う ; 従う ; 降伏する」	---	---
dahame	다하머	(3b-4-5) (12a-4-3) (12b-1-3)
dambi「風が吹く ; 火がつく ; 構う ; 救う」	---	---
dacibe	다치벼	(11b-4-3)
dasambi 「直す ; 治す ; 治める」	---	---
dasara	다사라	(11b-2-1)
de 「に ; で」	더	(1b-2-4) (1b-5-2) (2a-3-5) (2a-5-5) (2b-1-3) (2b-5-3) (3a-1-5) (4b-4-2) (5a-1-2) (5b-2-5) (5b-4-3) (6a-5-4) (6b-3-2) (6b-5-1) (6b-5-3) (7a-4-2) (7a-5-4) (8b-4-5) (9a-3-5) (9b-2-5) (10a-4-5) (10b-3-5) (10b-5-1) (11b-3-2) (12a-1-1) (bade, fonde の行も参照)
dekdembi 「昇る」	---	---
dekdefi	덕더피	(5a-4-4)
dembei 「甚だしく」	덤베	(4a-1-2)
dendembi 「分ける」	---	---
dendeci	던더치	(8a-1-2)
dendere	던더려	(7b-4-4)
dere 「～であろう」	드려	(4b-2-3)

¹ 原書において、満洲語文語 ini cihai の朝鮮語訳は「自然히」となっている。しかし、満洲語文語では、ini cihai は通常「その人の好きなように」を意味し、「自然に、ひとりでに、おのずから」という意味は、むしろ ini cisui で表される。

dergi 「東」	덜기	(5a-4-2) (6a-1-1) (9a-2-3) (9a-3-1) (9a-3-4)
deribumbi 「始める」	---	---
deribure	더리부러	(6b-4-5)
donjimbi 「聞く」	돈짐비	(6a-4-4)
donjifi	돈지피	(4a-1-1)
donjihabi	돈지하비	(6a-2-2)
dorgi 「内」	돌기	(1b-2-3) (10a-4-4) (10b-3-4)
dorgingge 「内部にあるもの」	돌깅거	(11a-3-5)
doro 「道理；礼儀」	도로	(2b-2-1)
dosimbi 「入る」	---	---
dosime	도시며	(2b-1-4) (3a-2-4)
dube 「先端」	두버	(11b-5-2)
duin 「四」	된	(1a-3-1) (12a-2-3)
duka 「門」	두카	(1b-5-1) (12a-2-4)
edun 「風」	어둔	(11b-4-2)
ejen 「主」	어전	(11a-4-3)
elhe 「平安；緩やか」	얼허	(1a-4-5)
eme 「母」	어머	(2b-1-2)
emu 「一」	어무	(6b-2-3) (10b-3-6)
enduringge 「聖」	언두링거	(3b-3-4) (4b-1-1)
erdemu 「才徳」	얼더무	(2a-1-1)
erdemungge 「才徳のある」	얼더뭉거	(10a-5-1) (10b-5-2)
ere 「この；これ；この人」	어러	(12b-1-2)
ergi 「方向」	얼기	(8b-4-2) (9a-3-2) (9b-2-2)
erilembi 「時間に応じて定める」	---	---
erileme 「時に準じて」	어리러머	(11b-3-5)
etumbi 「着る」	---	---
etufi	어투피	(2b-3-5)
fakcambi 「離れる」	---	---
fakcara	팍챠라	(2b-1-5)
fejile 「下に」	퍼지리	(1b-1-4) (5b-4-2) (11a-3-2) (12a-3-3)
feliyembi 「歩く」	---	---
feliyeme	퍼려머	(8a-1-1)
fonde 「時に」	푼더	(1a-2-5) (1a-5-2) (2a-2-5) (6a-3-1) (6b-2-2) (7a-1-2) (7b-4-5)
fonjimbi 「問う」	---	---
fonjime	폰지머	(3a-4-1) (5a-1-6) (5b-2-2) (6a-5-1) (7a-3-3) (7b-1-2) (8a-2-2) (8b-1-1)
fonjire	폰지리	(4b-1-3)
gasha 「鳥」	갓하	(5b-5-1)
gebu 「名」	거부	(2a-1-5)
geli 「また」	거리	(5b-2-1) (6a-4-6) (7a-3-2) (8a-2-1)

gemu 「皆」	거무	(1a-3-3) (11b-1-5)
genembi 「行く」	---	---
geneci	거너치	(8a-2-5) (8a-4-5) (8b-3-5) (9a-2-4) (9b-1-5)
geneſi	거거피	(3b-1-5) (4a-4-5)
genggiyen 「清い」	겅견	(1a-3-4) (3b-4-2)
geren 「諸々の；多くの」	거런	(1b-3-2)
gidambi 「押さえる；隠す；撃破する；鳥が卵を抱く；頭を垂れる」	---	---
gidafi	기다피	(6b-5-4)
gisun 「言葉」	기순	(9b-5-5) (10b-1-5) (10b-4-4) (12a-5-7)
giyang (jiyang giyang 「(地名)」)	걍	(2b-5-1)
golo 「省；地方」	고로	(8a-3-2) (8a-5-2) (8b-1-4) (11a-4-2)
gurun 「国」	구룬	(1a-2-3) (1b-2-1) (11a-3-3) (12a-5-5)
guwebumbi 「赦免する」	---	---
guwebume	궈부며	(11b-1-6)
guwembi 「鳴く；鳴る」	굽비	(5b-5-5)
gūnimbi 「思う」	---	---
gūnifi	구니피	(4b-3-1)
gūsin 「三十」	구신	(7b-3-5)
han 「君主、皇帝」	한	(1a-5-3) (3a-3-4) (3b-4-1) (3b-5-4) (4b-1-2) (4b-2-4) (5a-1-5) (5b-1-5) (6a-4-5) (7a-3-1) (7b-1-1) (8a-1-4) (8a-5-5) (9b-5-4) (10a-2-1) (10b-1-2) (11a-5-1)
han (han gurun 「漢朝」) ²	한	(1a-2-2) (12a-5-4)
hanci 「近い」	한치	(3b-1-4) (4a-4-4)
hecen 「城」	허천	(2a-3-4) (2b-5-2) (8b-5-1) (9a-2-1) (9a-4-2) (9b-1-2) (9b-3-2) (9b-5-2) (12a-2-2)
hendumbi 「言う」	---	---
hendume	현두며	(1b-1-2) (3a-4-2) (3b-2-2) (4a-1-4) (4a-5-2) (4b-3-6) (5a-2-1) (5b-2-3) (6a-5-2) (7a-3-4) (7b-1-3) (8a-2-3) (8b-1-2) (10a-3-4)
hese 「言葉；敕旨」	허스	(3b-4-3)
hiyan 「県」	한	(2a-3-3)
hošo 「角；隅；方位」	호쇼	(1a-4-2)
hūdun 「速い」	후둔	(10a-5-4)
hūlambi 「読む；呼ぶ」	---	---
hūlaci	후라치	(10b-2-4)
hūlafi	후라피	(10a-3-3)

² 早田 (2009: 139) が指摘しているように、「皇帝」を表す han における n には左側に付点が付かないのに対し、「漢」を表す han の n には左側に付点が付く。一方、『八歳兒』原書におけるこの han 「漢」の n には、左側の付点が見られない。

i 「の ; で」	이	(1a-2-4) (1b-2-2) (2a-5-1) (2b-3-3) (5b-5-4) (6a-4-3) (7a-2-4) (7b-5-6) (9a-1-1) (9a-5-3) (9b-4-3) (10a-2-2) (10a-3-2) (10b-1-3) (11a- 3-4) (11b-1-2) (12a-5-2) (12a-5-6) (cihai, ini, julgei, mooi, mukei の行も参照)
ice 「新しい」	이쳐	(11b-2-4)
ici 「右 ; 方向」	이치	(5a-4-3) (5a-5-2)
ihan 「牛」	이한	(2b-3-2)
ilan 「三」	이란	(6b-3-5) (7b-4-1) (10b-2-2)
ilimbi 「立つ」	---	---
ilifi	이리피	(10a-2-4)
iliha	이리하	(3a-4-5)
ilihabi	이리하비	(3a-3-3)
inenggi 「日」	이녕기	(2b-4-2) (3b-3-3)
ini 「彼の ; 彼女の」 (ini cihai 「任意に」)	이니	(1a-4-3)
injembí 「笑う」	인점비	(7a-2-5)
injefi	인져피	(4a-1-3)
inu 「も」	이누	(10b-4-2)
isambi 「集まる」	---	---
isaha	이사하	(10a-3-5)
isinambi 「着く、至る」	---	---
isinafi	이시나피	(2b-5-4)
jabumbi 「答える」	쟈붐비	(4b-2-2)
jabumbio	쟈붐비	(4a-3-5)
jabume	쟈부머	(4b-5-4) (5a-3-4) (5b-3-6) (6b-1-5) (7a-5-2) (7b-3-2) (8a-4-3) (8b-3-3)
jafambi 「掴む」	---	---
jafarakū	쟈파라쿠	(12a-2-1)
jakūn 「八」	쟈쿤	(1a-4-1) (2a-5-3) (3a-2-1) (3b-1-1) (4a-4-1) (4b-5-1) (5a-3-1) (5b-3-3) (6b-1-2) (7a-4-5) (7b-2-3) (8a-3-5) (8b-2-3) (10a-1-3) (11a-1- 3) (12a-4-4)
jembi 「食べる」	---	---
jetereengge	져터렁거	(2b-2-3)
jergi 「階」	젤기	(6b-3-6)
jibca 「毛皮の長衣」	집챠	(2b-3-4)
jilgan 「声 ; 音」	질간	(5b-5-3) (6a-1-4) (10a-3-1)
jimbi 「来る」	---	---
jihe	지허	(3b-5-3)
jio	조	(1b-5-5)
jiyang (jiyang giyang「(地名)」)	장	(2b-4-4)
jugūn 「道」	쥬군	(11b-5-4)

jui 「子」	쥐	(2a-5-2) (3a-2-3) (3a-5-2) (3b-1-3) (4a-2-2) (4a-4-3) (4b-5-3) (5a-3-3) (5b-3-5) (6b-1-4) (7a-5-1) (7b-3-1) (8a-4-2) (8b-3-2) (10a-1-5) (11a-1-5) (12a-5-1)
julergi 「南；前」	쥬럴기	(8a-2-4) (8a-4-4)
juleri 「南(に)；前(に)」	쥬러리	(10a-2-3) (10b-1-4)
julesi 「南に；前に」	쥬러시 ³	(7b-3-4)
julgei 「昔の」	줄게	(1a-2-1) (6b-2-1) (7b-3-3)
limu 「(人名)」	리무	(2a-4-3)
mederi 「海」	머더리	(1a-3-2) (8a-5-1) (8b-1-3) (8b-4-3) (9a-3-3) (9b-2-3)
menggun 「銀」	멍꾼	(9a-4-1) (9a-5-2) (9b-1-1)
mergen 「賢い；賢者、智者；狩獵の達人」	멀건	(11a-2-3)
mergengge 「賢者、智者」	멀겅거	(2a-1-2)
mingga 「千」 ⁴	ingga	(3a-1-1) (3a-2-6) (10a-4-2) (10b-3-2)
mooi 「樹木の；木材の；棒の」	旱	(11b-5-1)
mu (cing mu 「(地名)」)	무	(2a-3-2)
mudan 「音調；回；湾曲；回り道」	무단	(10b-2-3)
mukei 「水の」	무케	(2b-3-1)
niyalma 「人」	날마	(2a-4-5) (3a-5-5) (3b-3-1) (4a-5-4) (4b-3-3) (6b-2-4) (10a-5-2) (10b-4-1) (10b-5-3) (12a-1-3)
niyengniyeri 「春」	녕녀리	(11b-3-1)
ombi 「なる」	---	---
oci	오치	(6a-3-5) (7a-2-1) (7b-5-3)
ofi	오피	(5a-5-5) (11a-1-2)
ojoro	오조로	(12a-4-2)
ombihe	옴비히	(8a-1-3)
sahambi 「積む」	---	---
sahabiheo ⁵	사하비호	(9a-1-2) (9a-5-4) (9b-4-4)

³ 原書では、満洲語文語 julgei julesi の朝鮮語訳は「前古에」である。

⁴ 『増訂清文鑑』では minggan と綴られている。『大清全書』では mingga と綴られている。『八歳兒』原書では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、mingga に対応する形で現れている。

⁵ ここでの sahabihedo は、sa-「知る」に -habihe + o がつく形式ではなく、saha-「積む」に -habihe + o がつく形式である。この点は、『八歳兒』原書における朝鮮語訳「잇듯가」から確認できる。中世朝鮮語には複数の「잇다」があるが、そのうちの1つは現代語の「쌓다」(積む)に対応する(南廣祐 1997: 780-781; 高麗語言研究院 2006: 686)。また、Lie (1972) による『八歳兒』のドイツ語訳では、ここの満洲語文語の tere be dabsun / menggun / tugi i sahabihedo をドイツ語の Ist diese mit Salz / Silber / Wolken aufgeschichtet? 「これは塩/銀/雲で積み上げられているか」に訳している(Lie 1972: 81)。しかし、本来 saha-「積む」+ -habihe + o が形成する語形は sahabihedo と考えられるにもかかわらず、『八歳兒』原書では sahabihedo の形で記されており、ha が一つ欠落している。確かに、別の動詞 baha-「得る」に -ha が付く場合には通常 ba-ha となって重音脱落(haplology)が生じる(ただし、筆者が調査したシベ語では、この語において重音脱落は生じていない)。しかし、saha- + -ha の場合には、通常このような重音脱落は起こらない。同じ清学書である『清語老乞大』にも sahahangge の形が見られる(3卷1葉a面・3卷1葉b面参照)。した

sahafi	사하피	(6b-4-3)
sain 「良い」	샌	(2a-1-4) (4a-3-4) (4b-2-1) (11b-2-3)
sambi 「知る」	삼비	(5a-2-6) (7b-2-2) (8b-2-2)
saha	사하	(5b-1-4)
se 「歳」	서	(2a-5-4) (3a-2-2) (3b-1-2) (4a-2-4) (4a-4-2) (4b-5-2) (5a-3-2) (5b-3-4) (6b-1-3) (7a-4-6) (7b-2-4) (8a-4-1) (8b-3-1) (10a-1-4) (11a-1-4) (12a-4-5)
sebe 「～たちを」	스벼	(1b-4-3)
seibeni 「昔」	세버니	(3b-3-2)
selgiyembi 「布告する」	---	---
selgiyefi	설겨피	(11a-5-4)
sembi 「言う」	슴비	(9a-2-2) (9b-1-3) (9b-5-3)
sehe	스허	(2a-2-3)
seme	스며	(4b-3-5) (5a-2-4) (5b-1-3) (6a-1-5) (6b-3-4) (7b-1-6) (8a-3-3) (8a-5-3) (8b-1-6) (8b-5-2) (9a-4-3) (9b-3-3) (10b-2-1) (11a-4-4)
sere	스러	(2a-4-4)
si 「あなた」	시	(3a-5-3) (4a-2-3)
silenggi 「露」	시렁기	(11b-3-4)
sirdan 「矢」	실단	(12a-1-5)
sonjombi 「選ぶ」	---	---
sonjoro	손죠로	(3a-1-3)
sui 「罪過」	쉬	(11b-1-3)
sunja 「五」	순쟈	(2b-5-5) (3a-2-5) (10a-4-1) (10b-3-1)
šan 「耳」	샨	(5b-3-1) (6a-3-3) (6a-4-2)
še 「赦」	셔	(11a-5-2)
šun 「太陽」	순	(5a-4-1)
šusai 「秀才、書生」	슈새	(1b-4-2) (3a-1-2) (3a-3-1) (10a-4-3) (10b-3-3)
tafambi 「登る」	---	---
tafame	타파미	(6b-4-4)
tafukū 「階段」	타푸쿠	(6b-4-1) (6b-5-2)
taifin 「太平」	태핀	(12a-4-1)
tembi 「座る；住む」	---	---
tehe	터허	(2a-3-6)
tehebi	터허비	(10a-1-2)
tere 「その；それ；その人；あの；あれ；のの人」	터러	(1a-5-1) (2a-2-4) (3a-4-3) (6a-2-3) (7a-1-1) (8b-5-4) (9a-4-5) (9b-3-5)

がって、ここに見える sahabiheo は、誤記である可能性が高いと言える。以上は筆者の見解である。なお、Sulfa（私信）が指摘するように、sahabiheo は sahahabiheo の誤記である可能性に加え、sahambiheo の誤記である可能性も考えられる。ただし Sulfa も言及している通り、後者 sahambiheo の場合、文中の意味とは完全には符合しなくなる。

ton 「数；定員」	톤	(3a-1-4)
tucimbi 「出る」	---	---
tuci	투치	(10b-1-1)
tucifi	투치피	(10b-4-3)
tugi 「雲」	투기	(9b-3-1) (9b-4-2) (9b-5-1)
tuhembi「倒れる；落ちる；(日が)沈む」	투험비	(5a-5-3)
tukiyembi「持ち上げる；挙用する」	투呷비	(11a-4-5)
tumen 「万」	투면	(11a-5-5)
tuttu「そのように；あのよう に」	퉁퉁	(5a-5-4) (11a-1-1)
tuwambi 「見る」	---	---
tuwafi	투와피	(3a-3-5)
ududu 「いくつもの」	우두두	(2b-4-1)
uju 「頭」	우쥬	(4b-4-3) (5a-1-3) (5a-2-2) (5b-1-1)
ulhimbi 「理解する」	---	---
ulhire	울히려	(1b-4-1)
ulin 「財物」	우린	(2a-4-1)
urgunjembi 「喜ぶ」	---	---
urgunjeme	울군져머	(6a-2-1)
wajimbi 「終わる」	---	---
wajihha	와지하	(12b-1-4)
waka 「～ではない」	와카	(4b-3-4)
wargi 「西」	왈기	(5a-5-1) (8b-3-4) (8b-4-1) (8b-4-4)
wasimbi 「下る」	와심비	(11b-4-1)
wasimbumbi 「下す」	---	---
wasimbure	와심부러	(3b-4-4)
weihun 「生きた」	웨훈	(11b-1-1)
weile 「罪；事」	웨러	(4a-3-2) (4b-1-4)
wesihun 「上に；高貴な」	워시훈	(5b-5-2) ⁶ (6a-1-3) (12a-5-3)
wesimbi 「昇る」	---	---
wesiki	워시키	(6b-3-3)
wesimbumbi 「上奏する」	---	---
wesimbume	워심부머	(3b-2-1) (4a-5-1)
yabumbi 「行く、歩く；行う」	---	---
yabume	야부머	(2b-4-3)
yabure	야부러	(12a-1-2)

⁶ Lie (1972: 78-82) は『八歳兒』をドイツ語に翻訳している。『八歳兒』における wesihun jilgan の wesihun について、Lie (1972: 80) はドイツ語の seltsam 「奇妙な、おかしな」と訳している。Lie (1972: 269-270) によれば、当該のドイツ語訳は満洲語の原文に従っており、満洲語の原文と『八歳兒』における朝鮮語訳が正確に一致しているという。しかし、Lie が wesihun を seltsam と訳したのは、満洲語原文に従ったのではなく、朝鮮語訳における「夷」(貴)を「怪」(怪)と誤認したことに起因する誤訳である可能性が指摘できる。

yadahūn 「貧しい」	야다훈	(1b-2-6)
yadambi 「貧窮する」	---	---
yadara	야다라	(2a-4-2)
yooselambi 「施錠する」	---	---
yooselarakū	요스라라쿠	(12a-3-1)

参考文献

<日本語で書かれた文献>

- 池上二良 (1951) 「満洲語の諺文文献に関する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.
- 池上二良 (1954) 「満洲語の諺文文献に関する一報告 (承前)」『東洋學報』36(4): 57-74.
- 池上二良 (1963) 「ふたたび満洲語の諺文文献について」『朝鮮學報』26: 94-100.
- 今西春秋 (1958) 「漢清文鑑解説」『朝鮮學報』12: 21-58.
- 小倉進平 (1914a) 「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及満洲』83: 40-46.
- 小倉進平 (1914b) 「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.
- 菅野裕臣 (2005) 「朝鮮司訳院の清学書のハングル対音の性格について」『韓國語學年報』1: 1-8.
- 岸田文隆 (1989) 「清学書に現れた満洲語ハングル表記について：特に満洲字 e に対する 2 通りのハングル表記をめぐって」『言語学研究』8: 17-38.
- 田村實造・今西春秋・佐藤長(1966-1968)『五體清文鑑譯解』京都：京都大學文學部内陸アジア研究所.
- 羽田亨 (1937) 『満和辭典』京都：京都帝國大學滿蒙古調查會.
- 福田昆之 (2008) 『増訂満洲語文語辭典』横浜：FLL.
- 早田輝洋 (2009) 「満洲字概説：有圈点満洲字篇」久保智之・林徹・藤代節（編）『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』129-167. 福岡：九州大学人文科学研究院言語学研究室.
- 和田景子 (2013) 「『漢清文鑑』における満洲語のハングル表記：特に満洲語の文字連続 CVwV を中心に」寺村政男（編）『大東文化大学日本語学科 20 周年記念論文集』244-255. 東京：大東文化大学日本語学科.

<韓国語で書かれた文献>

- 高麗語言研究院(2006)『조선말 고어사전 (朝鮮語古語詞典)』牡丹江：黑龍江朝鮮民族出版社.
- 南廣祐(1997)『教學 古語辭典』서울：교학사.
- 성백인(1984)「譯學書에 나타난 訓民正音 使用：司譯院 清學書의 만주어 한글 표기에 대하여」『한국문화』5: 21-63.
- 邵磊(2011)「『漢清文鑑』을 通해 본 滿文의 한글表記法」『中韓文化關係國際學術會議論文集』290-308.

<中国語で書かれた文献>

- 崔宰宇 (1997) 「『漢清文鑑』的編排體例和語音轉寫」『中央民族大學學報（社會科學版）』1997(3): 82-89.
- 邵磊 (2016) 「清-朝鮮時期漢·滿·韓互譯中的文字對音：以『漢清文鑑』滿文的韓文表記法為例」『編譯論叢』9(2): 57-92.
- 邵磊·多麗梅 (2022) 「海外中國典籍的多語轉寫研究：以『清語老乞大』漢語·滿文的朝鮮文轉寫為例」『東方語言學』2022(2): 17-25.

- 邵磊・多麗梅（2023）「『三譯總解』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿學研究』2023: 195-204.
- 邵磊・金龍軍（2022）「清代滿朝對音文獻中的特殊轉寫：以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」『民族翻譯』2022(4): 77-86.
- 邵磊・林茶英（2022）「論朝鮮清學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」『滿語研究』2022(2): 6 9-74.
- 邵磊・任國俊（2023）「清學書中的朝鮮文『圈點字』研究」『民族翻譯』2023(3): 78-88.
- 邵磊・王敵非（2022）「『清語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿族研究』2022(2): 89-95.
- 王敵非（2013）「『清語老乞大』滿朝對音研究」『黑龍江民族叢刊』2013(6): 155-158.

<英語・ドイツ語で書かれた文献>

- Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.
- Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.

An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul in *P'al-se-a*

Haibo WANG
(Lingnan Normal University)

Keywords: *P'al-se-a*, Hangul Transcription, Written Manchu

P'al-se-a is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in *P'al-se-a*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

(おう・かいは boljon@163.com)